

安全・適正就業委員会

「危険予防」「交通安全」「健康管理」

3K便利「21」冬季号

発行:令和 3年 12月 25日

鴻巣市シルバー人材センター

安全・適正就業委員会

委員長 田代 和樹

年の瀬も迫り、市内でもパトロール中の警察車両をよく目にするようになりました。12月は年間で最も交通事故の多い月といわれます。センターでは11月に就業途上での交通事故が2件発生しています。何かと気忙しいこの時期、自動車を運転される方や自転車に乗る方はもちろんのこと、徒歩で出歩く際も周囲に十分注意を払い、事故にあうことなく良い年末年始をお迎えください。

《各種事業の予定》

普通救命講習会

期 日 令和4年2月21日(月) 午前9時00分～12時00分

場 所 川里農業研修センター 集会室

定 員 15名

申込み 2月4日までに本部事務所へ ☎569-3006

昨年度は中止となっておりましたAEDの取扱に関する講習会(普通救命講習I)を開催いたします。川里分署の署員指導の下、受講者には修了証が交付されます。いざというとき困らないよう、ぜひご参加ください。

事故報告

今年度に入ってから5件の傷害事故が発生しており、すでに昨年度の3件を上回っています。多くは特に危険な作業でもなく、皆さんにも起こり得る状況下での事故です。慣れた作業でも油断することなく安全作業を心がけてください

	発 生 日	作業内容	会 員	事 故 状 況
1	5月28日	屋内清掃	女	清掃用具の片付中にアキレス腱を痛める
2	10月14日	部品洗浄	男	部品を足の上に落として負傷
3	11月2日	清掃(途上)	女	就業帰りにバイク同士の接触事故
4	11月24日	屋外清掃(途上)	男	歩いて就業途上の交通事故
5	11月26日	屋内清掃	女	転倒時に手を着き、手首にヒビ

「油断大敵」 慣れた作業に 落とし穴

無事故を続けるために

加害者にも被害者にもなりたくない

私が無事故を続けるために、常に心がけている事があります。

一つは、定期的に孫の送迎で車を運転することがあるのですが、なかなかシートベルトを着けない2人の孫に「シートベルトを着けないと運転はしない」と、口うるさくベルトの着用を促しています。

もう一つは、自分自身で車を運転する時に「呼称運転」を心がけています。旅客鉄道の業務に携わっていた現役時代からずっと続けてきたこの「呼称運転」を、同じく実践し続けている元緊急車両の運転をされていた方の記事が新聞に記載されていたので紹介いたします。

例えば走行中、一時停止の交差点に近づけば「いったんてーし」と声に出してゆっくりと止まります。

発進の際には、左右の安全を確認し「右よーし」「左よーし」と声に出し、ゆっくりと発進します。

信号機のある交差点に差し掛かった時は、その信号を視認しアクセルペダルを離し「前方赤、信号てーし」と声を出しゆっくりと止まります。

青信号が出れば「信号よーし」と車を発進しますが急加速はしません。呼称運転は列車の運転士のように指差しせず、ハンドルを握っているため、声だけを発します。

とありました。

一人一人の尊い命、大切な人生を、事故で無にしてほしくないし、他の人にもしてはいけないと願っています。

安心・安全を確保するには、ほんのちょっとした手間と、少しの時間がいらします。面倒くさいと思わず周囲の安全確認を徹底し、加害者にも被害者にもならないよう新しい年を迎えましょう。

事故防止 目配り 気配り 徹底を